


## 監 査 報 告 書

令和4年4月 27日

まつやま人口減少対策推進会議  
座 長 仁科 弘重 殿

まつやま人口減少対策推進会議  
株式会社日本政策投資銀行松山事務所  
監 事 酒井 武 夫 

私監事は、まつやま人口減少対策推進会議の令和3年度の財産及び会計並びに業務執行状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

## 記

## 1. 監査方法の概要

私監事は、まつやま人口減少対策推進会議の事業実施主体である各団体の職員及び松山市の事務局職員から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要に応じて説明を求め、業務執行の妥当性を検討しました。

また、各団体の職員及び事務局職員に聞き取りを行いながら、会計帳簿並びに関係書類を閲覧し、計算書類の正確性を検討しました。

## 2. 監査の結果

まつやま人口減少対策推進会議の財産及び会計並びに業務執行状況に関しては、不正の行為はなく、かつ法令及び規約に違反する重大な事実は認められません。

以 上



令和3年度 まつやま人口減少対策推進会議

決 算 書

まつやま人口減少対策推進会議事務局

(松山市総合政策部企画戦略課)

令和3年度 まつやま人口減少対策推進会議

収支決算書

1. 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	摘要（積算基礎等）
松山市補助金	(3,000,000) 3,000,000	3,000,000	0	
自主財源	(20,347) 75,000	20,347	0	ワークライフ・コラボ負担分 (14,899円) 商工会議所負担分(5,448円)
預金利息	(1) 0	1	0	松山市補助金の振込で発生した預金利息
			0	
			0	
計	(3,020,348) 3,075,000	3,020,348	0	

2. 支出の部

区分	予算額	決算額	差引	摘要（積算基礎等）
事業費 (補助金分)	(1,700,000) 1,700,000	1,700,000	0	専門部会活動費 (ライフデザインプロジェクト)
〃 (自主財源分)	(14,899) 0	14,899	0	
事業費 (補助金分)	(1,300,000) 1,300,000	1,300,000	0	専門部会活動費 (企業の生産性アッププロジェクト)
〃 (自主財源分)	(5,448) 75,000	5,448	0	
繰越金	(1) 0	1	0	翌年度への繰越金（利息分）
計	(3,020,348) 3,075,000	3,020,348	0	

まつやま人口減少対策推進会議 専門部会（ライフデザインプロジェクト）

令和3年度 収支決算書

1. 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	摘要
補助金	1,700,000	1,700,000	0	松山市補助金
自主財源	0	14,899	▲ 14,899	
合計	1,700,000	1,714,899	▲ 14,899	

2. 支出の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	220,000	292,000	▲ 72,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キックオフイベント参加社会人講師への謝金 5,000×3名</li> <li>・学生スタッフ勉強会での社会人講師への謝金 5,000×1名</li> <li>・お宅訪問先への謝金 5,000×1組</li> <li>・学生による社会人へのインタビュー取材協力費 1,000×3名</li> <li>・ロールモデルインタビュー動画制作協力費 110,000/1式、</li> <li>・普及啓発講座での社会人講師謝金 5,000×7名（愛媛大2名・松山大1名・聖カ大2名・東雲短期大2名）</li> <li>・ジェンダー研究会での社会人講師謝金 3,000×2名</li> <li>・普及啓発イベントでの講師謝金 103,000×1名、パネリスト謝金 5,000×2名</li> </ul>
旅費	60,000	66,540	▲ 6,540	コーディネーター交通費
需用費	110,000	13,350	96,650	
消耗品費	0	4,441		コピー用紙、文具
燃料費	0	0		
食糧費	0	6,544		イベント時飲料、軽食等
印刷製本費	0	2,365		事業担当者名刺
光熱水費	0	0		
役務費	30,000	46,032	▲ 16,032	
通信運搬費	0	20,722		インターネット、メール配信、サーバードメイン、携帯電話、郵送代
手数料	0	25,310		オンライン配信システム手数料 22,110 振込手数料 3,080 クオカード購入手数料 120
使用料及び賃借料	80,000	40,160	39,840	会場費 11,000 パソコンリース料 29,160
企画管理費	1,200,000	1,256,817	▲ 56,817	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーター等人件費 951,600</li> <li>法定福利費 296,633</li> <li>労働保険料 8,584</li> </ul>
人件費	0	0		
消費税	0	0		
合計	1,700,000	1,714,899	▲ 14,899	

まつやま人口減少対策推進会議 専門部会（企業の生産性アッププロジェクト）

令和3年度 収支決算書

1. 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引	摘 要
補助金	1,300,000	1,300,000	0	松山市補助金
自主財源	75,000	5,448	▲ 69,552	松山商工会議所負担
合 計	1,375,000	1,305,448	▲ 69,552	

2. 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引	摘 要
報償費	550,000	682,550	▲ 132,550	デジタルイノベーション実践塾 講師謝金
旅費	0	0	0	
需用費	220,000	80,300	139,700	
消耗品費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	220,000	80,300	139,700	案内チラシ等
光熱水費	0	0	0	
役務費	0	28,620	▲ 28,620	
通信運搬費	0	28,620	▲ 28,620	郵送代
手数料	0	0	0	
委託料	55,000	110,000	▲ 55,000	ICT利用に関する分析業務
使用料及び賃借料	110,000	158,378	▲ 48,378	会場使用料、5Gルータ使用料
企画管理費	440,000	245,600	194,400	
専門家謝金	330,000	66,000	264,000	座長業務謝金 @22,000×3
労務費	110,000	179,600	▲ 69,600	アルバイト代
合 計	1,375,000	1,305,448	69,552	

令和3年度 まつやま人口減少対策推進会議

## 事業報告書

まつやま人口減少対策推進会議事務局

(松山市総合政策部企画戦略課)

## 令和3年度 専門部会 事業報告書【ライフデザインプロジェクト】

### 【専門部会 部会員】

役員等名	団体名
部会長	特定非営利活動法人ワークライフ・ユラボ
副部会長	愛媛県若年者就職支援センター
部会員	愛媛県中小企業家同友会
部会員	松山市公共職業安定所

### 【目的】

若者と共働き世帯が交流する事業を実施することで、相互理解の深まりや、地域への関心に繋げ、若者が子育てをしながら地域に定着し次世代を社会全体で育てる風土を醸成していくことを目的とする。

### 【令和3年度の活動状況】

新型コロナウイルス感染症の影響及び感染防止対策の観点から、対面でのライフデザイン出張講座及び共働きお宅訪問インターンシップを、適宜オンラインで実施した。

#### ○ライフデザイン出張講座（事前・事後アンケート実施）

市内の各大学で、企業に勤務する共働き経験者が価値観への折り合いのつけ方、仕事と暮らしの両立を講演し、気づきの共有を行うライフデザイン出張講座を実施した。

#### ○共働きお宅訪問インターンシップ

若者が、ワークライフバランスや企業での働き方、女性の継続就業の現状について事前学習を行い、共働き家庭の働き方や、家事育児の分担などをインタビューした。

#### ○学生ボランティアスタッフと若手社員の協働

ライフデザインキックオフイベントを開催し、プロジェクトに参画する学生を募った。応募学生を主軸に、学生自身が就活や将来についての不安や悩みを解決するイベントや勉強会を実施し、企業の若手社員にも参画を呼び掛け、学生へ助言を行った。また、ロールモデルを発掘するため社会人インタビュー動画を制作し活動報告会で上映した。

### 【今後の活動予定】

適宜オンラインを活用して、ライフデザイン出張講座及び共働きお宅訪問インターンシップを実施する。学生ボランティアスタッフを主軸に自主グループが学生の目線での事業を行うなど、若者のニーズにあった事業実施により目的の達成を図る。

令和4年度は次世代を育てる企業人材を増やし、中堅社員のアップデートの機会を創出するため、大学生を対象としたライフキャリア教育の授業で、スピーカーとして活動が出来る人材を発掘する。スピーカーが幅広く活動することで、継続して次世代育成を実施するしくみを構築していく。



## 令和3年度 専門部会 事業報告書【企業の生産性アッププロジェクト】

### 【専門部会 部会員】

役員等名	団体名
部会長	松山商工会議所
副部会長	愛媛県法人会連合会

### 【目 的】

松山市が総合戦略の中で掲げている「市内総生産1.6兆円の維持」の達成に向け、企業に対し「企業の生産性に関するアンケート」を実施し、生産性向上のための施策に生かすことを目的とする。

### 【令和3年度の活動状況】

令和2年度に実施した「ICTの利用状況に関するアンケート調査」の結果を深耕し、コロナ禍でデジタルを活用して新たなビジネスに取り組む企業の個別支援を拡充した。また、中小企業のデジタル化を推進するため、デジタルイノベーション実践塾を開講し、セミナー形式にてノウハウを提供し、企業の生産性向上を後押しした。さらには、安定した高速通信基盤の整備と活用のため、「次世代通信システム研究会」を通して、次世代通信システムの研究及び実証実験を行った。

### 【今後の活動予定】

コロナ後を見据えて、社会経済活動の正常化が進められており、目的の達成に向けては、これまで以上にデジタルを活用した生産性の向上とイノベーションの促進が求められている。令和2年度に実施したアンケートの事例と令和3年度の個別支援の結果を検証し、より効果的かつ具体的な、デジタル活用の個別支援を展開する。

また、一定程度の効果があるため、セミナー形式での実践塾も継続して開講。特に、デジタル活用のために「経営デザイン」の観点から、先進ノウハウを有する講師等を招聘した研修を行い、企業が生産性向上を図るための機会を創造していく。

このほか、「次世代通信システム研究会」において、具体的なイベントなどでの利活用事例の創出に取り組むとともに、事例をもとにした今後の活用方法を検討して、市の施策に要望する。